

2021年 8月28日～29日 泉大津フェニックス実施に伴う

新型コロナウイルス 感染拡大防止ガイドライン

[第2項]

RUSHBALL
2021



野外コンサートのガイドライン考察と 今年への対応策

RUSH BALL 2021 は内閣官房が発出する事務連絡と地方自治体による感染防止対策措置を制定し、国民はそれぞれの土地の状況に対応しながらたくさんの努力とたくさんの我慢をしながら、生活や社会活動を行なっています。会場もある大阪府泉大津フェニックスも例外ではなく、大阪府の示すその時期の感染拡大防止対策を励行することはもちろんのことです。

全国各地が今その制限・規制内容にばらつきもありますが、感染者を減らす方法を皆で共有し実行し、緊急事態やまん延防止重点措置のかからない状況になりたいと思っています。

昨年、大阪府・泉大津市・関係関連のある企業や人々の最大の協力を得ながら RUSH BALL 2020 は泉大津フェニックスで無事感染者・クラスターを出さずに開催することができました。

今年の目標もクラスターを起こさないよう留意し、音楽の明るい未来のステップとして開催しますので、参加希望のお客様は以下のルールをよく読んでいただきご応募ください

スマートフォン所有者

- ・すべての参加者は電子チケットを利用
- ・RUSH BALL 公式アプリをダウンロード（アプリ内個人登録・問診票入力が必要）

応募対象地域を限定

- ・現在住んでいる住所が有効
- ・近畿地方、中部地方、中国地方、四国地方、九州地方の5地方とする

抽選受付

- ・受付期間を8月2日～8月19日とし、当落発表を8月23日20時頃とします

※それに伴う、移動・宿泊のキャンセル費用に関して一切主催者は責任を負いません

★ 運営（輸送計画）に関して

駅からの乗降所間での滞留はこの人数であれば可能性は低く、合わせて注意喚起をポスト付けて随時行うことにより感染原因を排除できると考えます。

大阪市内バス乗車場→会場バス降車場

泉大津市内バス発着場⇄会場バス発着場

会場バス乗車場→大阪市内バス降車場

市中誘導を減らす目的とし、上記の輸送手段に分散させ輸送する時間制・時間指定・各種人数を限定するような対策を行います。

★ 開催当日のシャトルバスに関して

公益社団法人 日本バス協会のガイドラインを基に、バス車内に可能な限り手指消毒液を装備し、来場者が乗車する際に手指消毒をお願いし、マスクの着用・咳エチケットの励行・車内など密閉空間での会話をしないこと等を徹底します。バス乗降所での待機に関しては、キャパシティへの滞留の情報を逐一本部と連携をし、車内での拡大防止への励行を必ず行います。

★ チケット販売に関して

左記今年への対応策を必ずご確認の上、了承を得た方のみご購入とします。転売・譲渡は一切禁止とし、転売されたチケットではご入場できません。またチケット購入後のキャンセル・変更は一切出来ません。

★ 会場での運営に関して

- ・入場待機列のそれぞれの距離を保つよう目印を施し、常時注意喚起します。
- ・物販所での遮断幕（ビニールカーテン等）による飛沫感染予防常時手指消毒の励行や、テーブル椅子などの備品の定期的な消毒を実施します。
- ・客席内の身体的距離を確保するために積極的な声かけ等健康と安全のための対策を徹底し、慎重に運営してまいります。
- ・大阪府推奨の「大阪コロナ追跡システム」の登録・運用します。・COCOA
- ・会場内は、前方スタンディングエリアと後方シートエリアがございます。
 - ▶前方スタンディングエリア：シート／座り込み禁止・1名ずつの区切り内での観覧となります。
 - ▶後方シートエリア：密を避ける適度な距離（1m目安）を保ってシートを広げてご利用ください。

その他

開催当日までに様々な関係機関に協力を仰ぎ、常時最適な運営ガイドラインを更新し、万全の体制で安全を提供できるイベントを目指します

随時政府と大阪府の「感染対策方針」を参照し、より良き実施内容を目指します。

目次

1. 感染予防の基本的な取り組み ～野外イベントにおける対策～
2. 輸送に関して
3. 基本対策（事前準備）
4. 基本対策（当日準備）
5. 基本対策（入場時）
6. 基本対策（公演時）
7. 基本対策（退場時）
8. 基本対策（公演後）
9. 基本対策（物販）
10. 基本対策（飲食関連）
11. 基本対策（感染が疑われる場合の対応）
12. その他の取り組み

1 感染予防の基本的な 取り組み ～野外イベントにおける対策～

スタッフの保健衛生対策の徹底

- ★ マスク着用、及び施設の出入りの際に、手指のアルコール消毒、または手洗いを実施する。
- ★ 検温の励行及び、発熱、のどの痛みなどの感冒症状がある場合は出勤しないようにし、現地スタッフの会社の従業員の管理徹底を周知する。
- ★ 清掃やごみの廃棄を行う者は、マスクや手袋を必ず着用し、作業後は手洗いをを行う。
- ★ ユニフォームや衣類をこまめに洗濯する。

来場者の保健衛生対策の強化

- ★ マスク着用、手指のアルコール消毒、手洗いの実施の徹底を喚起する。
- ★ 発熱やのどの痛みなどの感冒症状がある場合は来場しないよう事前に周知をする。

施設の消毒の徹底

- ★ ドアノブ、手すりなど、多くの人に触れる場所は消毒を行うが各自が、こまめに手指消毒をする
- ★ トイレの衛生管理を行う（清掃の徹底、換気扇の設置、手洗い場の増設）

定期的な換気の実施

- ★ 控え室や救護室など、屋内施設の換気を徹底する。

人と人の接触機会の減少

- ★ フードドリンクの対面販売では購買者との間をアクリル板やビニールシートなどで遮蔽する。
- ★ 現金の取扱をできるだけ減らすため、キャッシュレス決済やオンラインチケットの導入を検討する。
- ★ 入場時の受付の際は、マスクや手袋を着用し、接触機会を減らす対策をこうじる。

様々な場面での人との距離に関して

- ★ 行列ができる際は、間隔を空けた整列を促す。
- ★ 人が滞留しないように、ブロックごとの入場や退場にて運営する。
- ★ 客席において身体的距離を確保するよう、来場者に促す。

感染者の発生に備えた情報管理

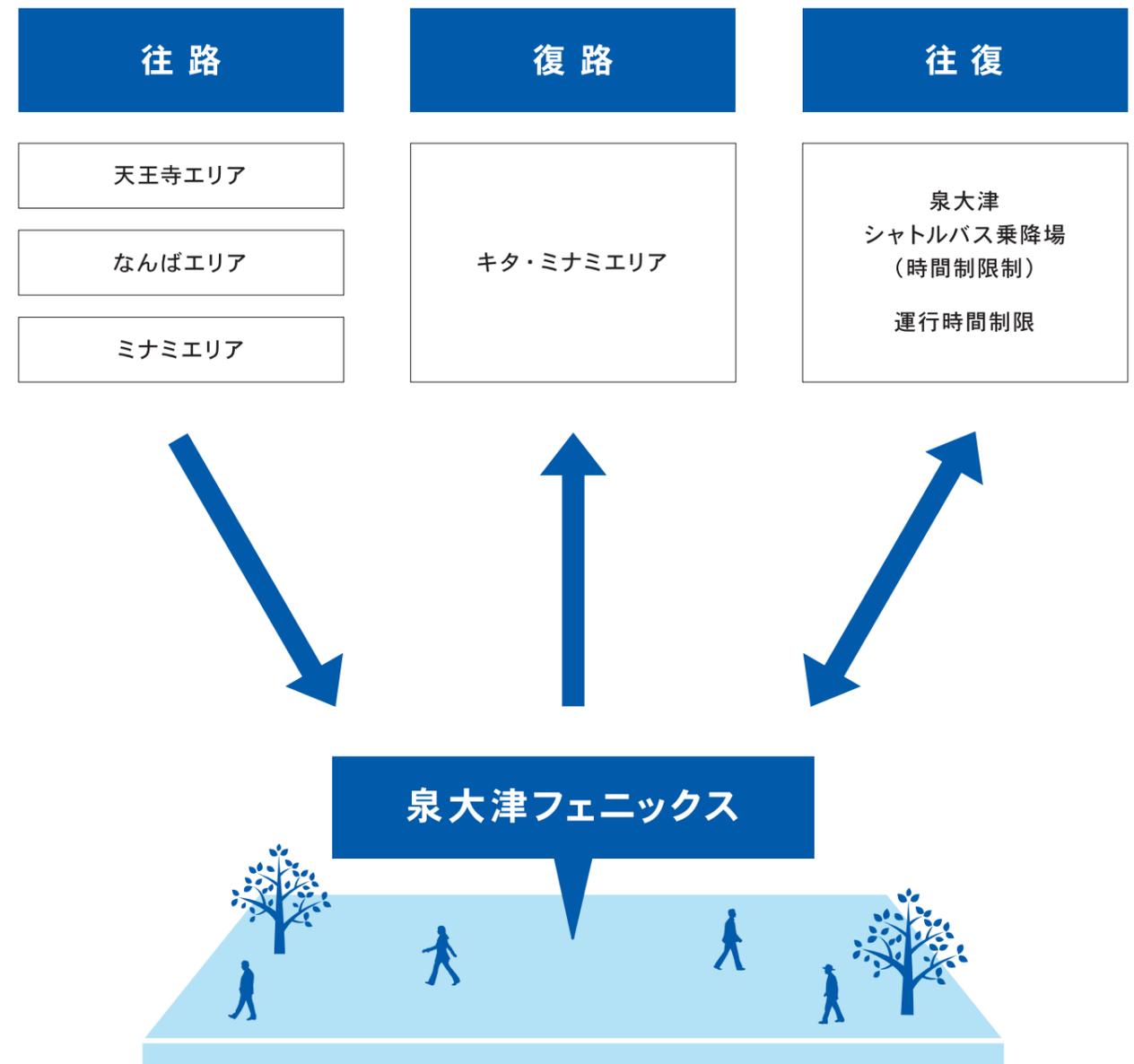
- ★ 主催者は感染が疑われる者がイベント開催地で報告された場合、公的機関に購入者およびイベント状況の報告を伝える義務があることを留意し、すべての参加者の氏名・連絡先などの情報をイベント期間の前後で管理します。
- ★ 「COCOA」「大阪コロナ追跡システム」の当日の登録推奨に追加して、イベント公式アプリのダウンロードを必須とし、当日のWEB問診の入力や顔写真を登録できるシステムを用いた個人情報の登録も必須とします。

感染防止の取組の積極的な発信

- ★ ガイドラインに基づく感染予防の取組について、ホームページに掲載・SNSでの発信するなど情報をてきぎ公示する。

2 輸送に関して

RUSH BALL 2021 は、市や感染予防のもと、シャトルバス（市内乗降◀▶ 会場）を出来るだけ減らし、大阪市内からの直通直行バスの導入を昨年同様、実施します。



3 基本対策 事前準備

主催者・スタッフが取り組むべきこと

- 1 マスク着用、手指消毒、手洗いを徹底する
- 2 ガイドライン及び現場の対応方針を周知徹底する
- 3 作業開始3日前から毎日検温、体調報告を遂行する
- 4 発熱やのどの痛みなどの感冒症状がある場合は出勤しないように、勤務先や関係先に連絡・報告する
- 5 運営・管理に必要最低限度の人数とするなど、ジョブローテーションを工夫する
 - 例) ・準備作業の見直し、余裕を持った時間設定
 - ・従事するスタッフのマルチタスク化を推進 など
- 6 ユニフォームや衣服をこまめに洗濯する
- 7 来場者との接触機会を減少できるような取り組みを工夫する
 - 例) ・オンラインチケットやキャッシュレス決済の導入
 - ・飲食店舗においての飛沫等を遮蔽する対策物の設置等

来場者に事前周知すべきこと

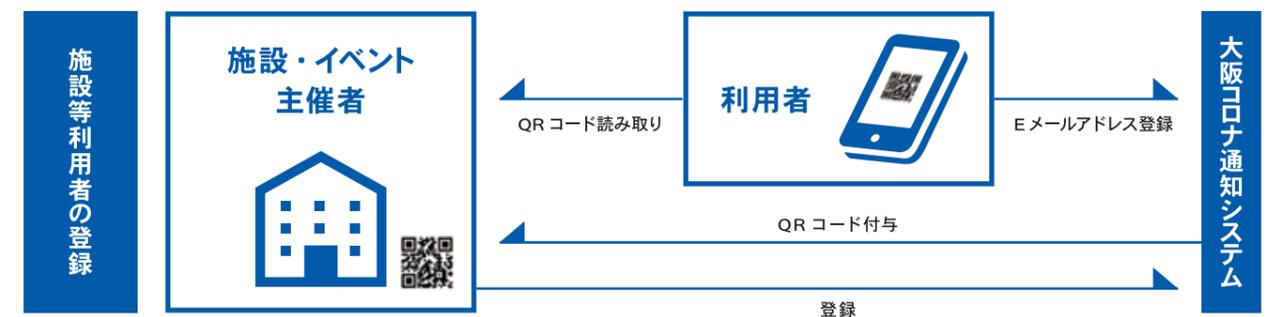
- 1 マスク着用、手指消毒、手洗いを徹底する
- 2 発熱やのどの痛みなど、感冒症状がある場合には来場を断念し、医療機関に相談、感染の恐れがある場合、診断書等をもって、リセール・払い戻しの対応を促す

例) 施設定員は定める制限数を見極め、1回あたりのチケット販売上限を設定する



その他

- 1 公演関係者の氏名、緊急連絡先、勤務状況を把握し、名簿を作成する
- 2 QRコードを利用した「大阪コロナ追跡システム」の活用を原則とする COCOA



4 基本対策 当日準備

主催者・スタッフが取り組むべきこと

- 1 マスク着用、手指消毒、検温を実施する
- 2 発熱やのどの痛みなど、感冒症状がある場合は勤務停止、バックヤードへの入場を禁止する
- 3 バックヤードへの入場は必要最小限の人数に制限する
- 4 不特定多数の人が触れる場所を消毒する
例)・ドアノブ、手すり、椅子、楽屋や控え室の備品を消毒する
・レンタルした備品は、搬入・設置後に消毒する など
- 5 感染を予防できるような備品、消耗品を設置する
例)・マスク、消毒液、ビニールカーテン、ペーパータオルを設置する
・楽屋では使い捨ての紙皿や紙コップを使用する
・使い回しが発生しないよう徹底する



来場者に依頼・周知すること

- 1 マスク着用、手指消毒、手洗いを徹底する
- 2 発熱やのどの痛みなど、感冒症状がある場合には来場を控えるよう周知する
- 3 来場時の検温の実施など感染予防対策を周知する
例)・非接触体温計の導入
- 4 来場当日のWEB問診票の登録を原則とする
- 5 「大阪コロナ追跡システム」の利用を原則とする COCOA
例)・システム導入に伴う、入場口の動線再検討とシステム利用時の注意事項を事前周知する

5 基本対策 入場時

会場入口において行うべきこと

- 1 来場者へのマスク着用の喚起、手指の消毒、検温を実施する（再入場の際も同様）
- 2 来場者への検温を実施し、発熱やのどの痛みなど、感冒症状がある際は入場しないよう要請する

具体的なケース

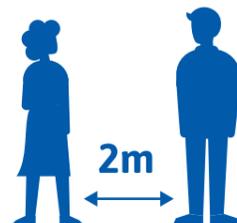
- ★ 37.5℃以上の発熱
- ★ 咳、呼吸困難、全身倦怠感、嘔頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐
- ★ 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある

- 3 スマートフォンへの RUSH BALL 公式アプリのダウンロードを必須とする「COCOA」「大阪コロナ追跡システム」の入力推奨とするアプリ内に来場当日のWEB問診票入力システム導入・入力必須とする



入場時の行列に関して行うべきこと

- 1 身体的距離を確保するように間隔を空けた整列を促す
例) ・ 入場列は最低でも1m、できるだけ2mを目安にスペースを確保する
・ 分散入場や立ち位置の指定 など
- 2 入場列の整理スタッフへのジョブローテーションなど熱中症のリスクを低減する
例) ・ スタッフ交代を2時間交代 → 1時間交代に変更
30分の休憩確保 など



チケットに関して行うべきこと

- 1 来場者との接触機会を減少できるような取り組みを推進する
- 2 入場時のチケット確認の簡略化を検討する
例) ・ 来場者が提示した内容をスタッフが確認する
・ 電子チケットを推奨する など
- 3 入場口で来場者に対応するスタッフは、マスクや手袋を着用する。作業前後は、石けん・流水による手洗いを徹底する。



来場者に関して行うべきこと

- 1 パンフレット・チラシ等は手渡しによる配布を避ける
例) ・ ウェブ上で実施する
・ 貸出物は十分に消毒する、消毒が難しい場合は貸出しない など
- 2 プレゼント、差し入れ等は控えるよう呼びかける

熱中症対策に関する対案は、随時思案中です

熱中症によるコロナウィルス感染の疑いを差別カスベククールダウンシステム等対策を実施

6

基本対策 公演時

主催者・スタッフが取り組むべきこと

- 1 マスク着用、手指消毒、手洗いを徹底する



- 2 来場者と演者が接触するような演出は行わないようにする



例)・モッシュ ダイブ禁止

・声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチなどは行わない

- 3 会場内でも適宜手指消毒ができるよう、消毒液を設置する

来場者に依頼・周知すること

- 1 マスク着用、手指消毒、手洗いを徹底する

- 2 公演中の来場者同士の接触は控えるよう呼びかける

- 3 会場内における大声での発声や会話を控えるよう促す

例)・開演前のアナウンスで注意事項を周知する
 ・声援やかけ声を控えるよう呼びかける など
 ・モニター表示で注意喚起する

その他運営に関すること

- 1 事前に密集状況が発生しないよう、余裕をもった休憩時間に設定する

例)・転換時の休憩など、注意喚起
 ・転換の時間をしっかりと設定する

- 2 休憩時はトイレなどでの行列に注意し、行列の整理など混雑緩和に努める

例)・トイレへは、分散して誘導する など

- 3 感染の疑いのある者が発生した場合、速やかに且つ適切に対応する

例)・別室に隔離し、マスクと手袋を着用して対応する。
 症状確認後、保健所等関係各所へ連絡する。

- 4 主催者が要請するルールやマナーを遵守できない来場者に対し、退場を促すことを検討する

※出演者の方にも主催者・スタッフと同様の感染防止対策を取っていただく

- 5 不特定多数の人が触れる、ドアノブなどは定期的に消毒する

7 基本対策 退場時

主催者・スタッフが取り組むべきこと

1 時間差での退場を促すなど密な環境が発生しないように取り組む

- 例) ・ 余裕を持った退場時間を設定する
 ・ 混雑する状況にならないように促す
 ・ 券種ごとの時間差での退場を行うエリア
 ・ 退場口へは、エリアごとに退場動線の設定を検討する など

2 行列が生じないよう、動線の設定や誘導を工夫する

行列が発生する場合は、身体的距離を確保するよう、間隔を空けた整列を促す

3 交通機関との連携を行う

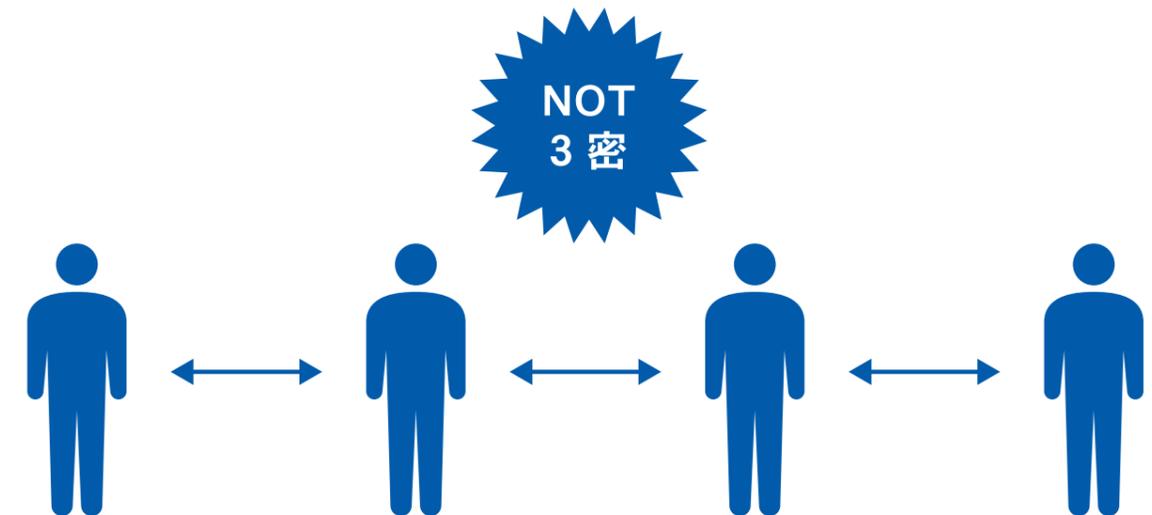
交通機関との連携や誘導のための案内表示など、
往來から取り組んでいる内容を継続します。

- ★ シャトルバス運行管理担当者との連携
- ★ 最寄駅との情報共有（臨時便の設定依頼を含む）
- ★ 移動する人数を想定した動線の設定、行列スペースの確保
- ★ 適切な案内表示（「駐車場はこちら」「泉大津駅はこちら」）

退場口において行うべきこと

1 出待ちや面会等は控えるよう呼びかける（密集を避ける）

2 プレゼントや差し入れ等は控えるよう呼びかける



8

基本対策 公演後

会場にて行うべきこと

- 1 不特定多数の人が触れた場所を消毒する
- 2 清掃やゴミの廃棄を行う際は、マスクや手袋の着用を徹底し作業後は手洗いする

主催者・スタッフが取り組むべきこと

- 1 密な環境にならないよう、撤去時間に余裕をもたせる
例)・撤去作業の工程の見直し
・従事工程ごとに従事者を特定し、室内の人員を最小化 など
- 2 物販などで行列が発生する際は、身体的距離を確保するよう間隔を空けた整列を促す
- 3 機材や備品、用具等を取り扱う際は、不特定者の共有を制限する
- 4 清掃やゴミの廃棄を行う際は、マスクや手袋の着用を徹底し作業後は手洗いする
- 5 感染が疑われる者が発生した場合に、公的機関による聞き取りに協力し、情報提供を行う

感染が疑われる者が出た場合に備え、来場者、スタッフの名簿が作成できるように、事前に対策を行います。名簿を作成する際は、個人情報保護の観点から、名簿の保管に十分な対策を行います。

来場者に依頼・周知すること

- 1 退場時においても身体的距離を確保するよう周知する
- 2 出待ちや面会、待ち合わせなど、密な環境が発生しないよう周知する
- 3 様々な帰宅手段に於いて、道中での滞留をせずそれぞれが直帰するように注意喚起する

9

基本対策 物販



物販をする際に留意すること

- 1 従業員のマスク、手袋の着用、手指消毒、手洗いを徹底する
- 2 対面での販売は、フェイスシールドやビニールカーテンの設置など、購買者との間を遮蔽できるよう努める。
- 3 購買者との接触機会を減少できるような取り組みを検討する（キャッシュレス決済導入など）
- 4 行列ができてしまう際は身体的距離を確保するよう間隔を空けた整列を促す

その他検討するべきこと

- 1 多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わない
- 2 物販の通信販売を導入する

10

基本対策 飲食関連

飲食店舗において取り組むべきこと

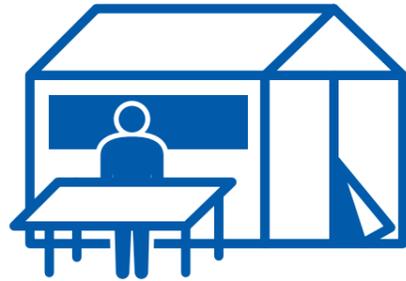
1 定期的な換気

例)・テントの横幕を開放する

2 施設の消毒

3 スタッフの保健衛生対策

例)・注文や配膳、会計などをする際は、必ずマスクを着用する
・お客様が残したゴミや利用したおしぼりなどを回収する際には、
できる限り、使い捨て手袋やマスクを着用し、作業後は速やかに
手洗いするなど



利用に対し周知・依頼するべきこと

1 来場者の保健衛生対策

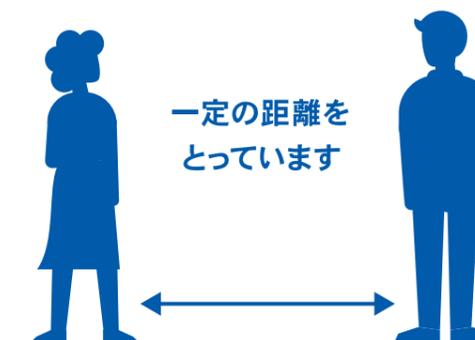
例)・使い捨て容器やカップを使用する
・大皿での提供やトングの共有を控える食べ飲みまわしのないよう注意喚起。

2 人と人の接触機会の減少

例)・キャッシュレス決済の導入を検討

3 社会的距離の確保

例)・飲食可能な客席間を区画する
・グループ間の安全を確保するために、
他グループとの相席を避けたり、間隔を空けた配置で案内する など

4 行列ができてしまう際は身体的距離を確保するよう
間隔を空けた整列を促す

11

基本対策 感染が疑われる場合の対応

スタッフの場合

- 1 スタッフが濃厚接触者となった場合は、現場には参加せず14日間の自宅待機とする
- 2 感染が疑われるスタッフは、勤務先や関係先に連絡をした上で、保健所の相談窓口へ連絡し、指示に従う
- 3 スタッフの感染が陽性と確認された場合、勤務先や関係先に連絡をした上で、保健所等の指示に従い、医療機関への入院やホテル等で宿泊療養を行う勤務先は、感染したスタッフの状況把握に努める
- 4 スタッフが感染した場合は、当該スタッフの濃厚接触者を特定し、各セクションの管理体制を関係機関に提出し、感染拡大防止を迅速に行う

来場者の場合

- 1 発熱や呼吸困難、倦怠感など感染が疑われる来場者が現れた場合は、他の来場者と区分した部屋で待機させ、マスク着用の上、外に出ないようにする
- 2 保健所の相談窓口へ連絡をし、感染の疑いのある者の状況や症状を伝え、保健所からの指示に従う
- 3 37.5℃以上の発熱があった患者が平熱に戻った場合、観覧エリアには戻さず医師の判断を仰ぐ
- 4 他の来場者への情報提供は、保健所の指示に従う
- 5 来場者、スタッフ等の名簿を作成し、保健所への提出に備える

感染が疑われる者が出た場合に備え、来場者、スタッフの名簿が作成できるように、事前に対策を行う。

新型コロナウイルス感染症に関する
相談窓口・問い合わせ先

和泉保健所

相談窓口

電話番号：06-6944-8197 開設時間：9時00分～18時00分（土日祝含む）

受診相談

電話番号：06-7166-9911 開設時間：土日含め終日つながります

12 その他の取り組み

野外イベントにおける留意点

- ★ 可能な範囲で手洗い場を設け、手洗い・うがいができるよう取り組み
- ★ 手指消毒ができる場を設ける（消毒液の設置）
- ★ 設営時や撤去時の食事時などで多くの従事者が一斉に集まらないよう、休憩時間に時間差を設けたり、休憩場所を広くとるなど工夫をする
- ★ 雨天や荒天時を想定し、来場者が避難できる場所を多く設けたり、避難場所がテントなどと想定される場合は、横幕を開けた形で風通しを良くする
- ★ 来場者へのゴミ捨て場の周知や、ゴミの廃棄に携わる従事者の衛生の徹底など、会場内にゴミが散乱しないよう取り組む
- ★ 日傘使用可能シートエリア
 - ・周りの方に危険のないよう、周辺に充分注意のもと、譲り合ってのご利用を前提とさせていただきます
 - ・座った状態での日傘の使用と限らせて頂きます。
 - ・ステージが見え難い場合がございます。



RUSH BALL 2021

2021年8月28日・29日

泉大津フェニックス